

明けましておめでとうございます



今年元旦の富士

市議会議員 松本とし子

穏やかな天候で新年を迎えることができました。
今年こそ、国民の声が響く政治への転換の年にしたいと願っています。本年もよろしく願いいたします。

昨年の一斉地方選挙で、議員団の議席が3から2になったことは議会对応ひとつとっても大きな痛手でした。その分を取り戻すべく日々努力し、皆様の期待に応えられるようこれからも頑張っています。

2007年を振り返って

昨年は平塚の市議選が終わると同時に、次々と市・町の選挙が行われ、あわただしい一年となりました。そんな中で、7月に行われた参議院選挙では、国民の多くが「今の自民・公明政権ではだめだ」という審判を下し、参議院では与・野党の議席が逆転し、その結果、「インド洋から海上自衛隊を撤収」させる大きな力を発揮しました。

国民の声で軍隊を撤収させたのは、戦前・戦後を通じて日本の歴史の中で初めてのことといえます。

これまで小泉・安倍政権の下で、国民の意を無視して「改憲」が叫ばれてきました。そして、5年以内に変えてみせるといったのが安倍元総理でした。しかし、日本の憲法は「押し付けられた憲法」などではなく、いままさに「アメリカから改憲を押し付けられている」ということが明らかになり、国民はそれに対ししっかり参院選挙で「ノー」を下したのです。

今の政府の異常なまでのアメリカ追従に、多くの国民が危機感を持っています。そして、マスコミの大宣伝の下、「自民か民主か」という選択の中で、民主党に多くの票が流れましたが、この民主党も、根っこは全く自民党と変わらないということも、目を追うごとに分かってきました。

今年行われるであろう衆議院解散総選挙は、さらに一歩進んで「本当に、憲法を守り、国民本位の政治を進めていく」政党はどれかという選択になると思います。それにはまず「いったん撤退させた自衛隊は、どんなことがあろうと二度と海外に出さない」これが第一の選択だと考えています。そのために、私も全力を尽くして頑張る決意です。



今年も市民の暮らし・福祉・教育優先の市政のために

昨年も平塚市内の中小業者の倒産・廃業が相次ぎました。多くの業者が、「苦しい」という本音も言い出せないまま、多額の負債を抱え、身動きとれない状況になって倒産に追い込まれています。

そして、「いま何とか生活しているが、家族に病人が出たらもうお手上げ。」「夫がリストラされたら貯金もないし、どうやって生きていったら・・・。」と、多くの方が不安を抱えながら生活しています。

私は、議員になって6年目を迎えますが、この間多くの方からご相談をいただきました。そうした中でいつも「市民がいざ困ったという時に、温かい政治の手が差しのべられているか」という点に軸足を置いてきました。

市民の方々から生の声を聞いて、制度に不備があれば皆さんと声をあげて要綱に盛り込んでもらおう。制度としてあるなら、もっと市民に知らせて活用してもらおう。税の不公平は正し、社会保障や暮らしの財源という点でも正當に社会的責任を負ってもらおう、こうしたことをしっかり言ってゆくことが大切だと感じています。

これからも暮らし・福祉・教育優先の市政のために力を注いでまいります。